

様式 5

平成 30 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 30 年 7 月 2 日

学 長 殿

所属部局・職名 経済経営学類・准教授

申請者名 野口 寛樹

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・○学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	AJBS&AIB における学会報告、参加
事業実施期間	平成 30 年 6 月 23 日～平成 30 年 6 月 29 日
成果の概要	<p>本発表は「Internationalization without Geographical Expansion: The Effects of Customer Scope Expansion」と題し、顧客範囲の国際化が組織の知識に与える影響を明らかにすることを目的としている。</p> <p>既存研究では、主として地理的拡張を伴う国際化が分析対象とされてきたが、近年、日本国内に拠点を置いたままであっても、顧客やサプライヤーなどの取引相手が国際化していく事例が散見される。</p> <p>本研究では、顧客範囲の国際化に焦点を当て、海外顧客を取り込むことが、日本国内企業の知識拡大を促進するかを検証する。</p> <p>発表後、フロアからは AIB の重鎮でもあり、また AJBS のよき理解者でもある、Eleanor Westney 先生からアドバイスを受けた。</p> <p>また同じく AJBS に長くかかわってこられたハワイ大学の伊藤先生から、本研究の統計的に検証することの難しさが指摘された。</p> <p>またチェアであった、CUHK ビジネススクールの牧野先生からは、セッション後もアドバイスを頂き、理論的な面も少し考察を深めてみることの必要性についてアドバイスを頂いた。</p> <p>今後の研究発展に非常に有益なコメントをいただいた。</p>